


## 《うでもいい話、その 563》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

今がビールの最も美味しい季節で、乾いたノドに放り込む  は「ゴックン、ウマー！」 同じ口の中に放り込む食べ物とビールとは、口内における対応が異なります。食べ物を口に入れるとまず歯で噛みます。噛みますが全部の歯をいっぺんに使って噛むのではなく、前歯は最初だけでそのあとは時間をかけ奥歯が担当します。その奥歯も左側が欠けている私などは、右側だけで噛みます。同じ身内でありながら右側重労働、左側楽隠居という差別で、そして舌を使いノドに放り込みます。そこへいくとビールは違います。口に放り込むと、右も左もなく歯、舌、頬、舌の裏側まで全体にゆきわたるよう、また歯などへの労働はほとんどなく、自由、平等、博愛の精神で、そして普段は食べ物の後始末を受け持たされているノドにも十分な刺激と喜びを与え通過します。その後も食道、胃袋から膀胱と、ゆっくり歩いている食べ物には途中で「お先に、さようなら！」と駆け足で声をかけて別方向に分かれ、男と女とは形状・構造的に異なる液体専用出口へと向かいます。

岩波より